

一 般 質 問

医療費の無料化中3まで！ 柑橘産地における救済策はないか！

安本貞敏 議員

問 ちびっ子医療費助成事業については、小学校6年生までの無料化を、中学生終了の義務教育終了まで延長できないか。



答（町長）ちびっ子医療費助成事業については小学校1年生から小学校3年生までの対象を、小学校6年生まで引き上げた。

生まれてから小学校6年生までのすべての子供が所得制限もなく無料化したのは県内でも本町が最初である。

財源の大変厳しい状況下にある。今後と

も医療費の一部を助成することにより、子育て費用の軽減を図り、若者の定住促進に資するため検討努力をして行く。

問 ミカン価格が依然として低迷している現状の中で、今後において足腰の強い方策はないか。

答（町長）昨年末、周防大島町とJA山口大島で、山口県に新たな視点に立った生産団地の再編に向けて要望している。

荒廃園対策については大変憂慮しており、遊休農地対策にも取り組み、農地銀行における農地の有効活用に努め、貸し借りや売買にも取り組んでいる。



荒れたミカン園

町政運営の負を追う！

広田清晴 議員

問 総選挙で民主党を中心とする政権が誕生した。私はこの政権は過度的政権と位置づけている（軍事・大企業優先の政治であるが国民要求の一定の前進を含む政権）。又選挙政策が国民に全て支持されたと思わない。



答（町長）今回の政権交代が実現したのは、多くの皆さんが社会の不安感・閉塞感・格差に対応できない自民党政権そのものへの不満があったのではないかと考えている。マニフェストについては地域主権の確立、

自主財源（交付税）の大幅拡充等期待する面があるが子供手当の創設に伴う地方負担の問題、各交付金の大幅減額に伴う補てん措置が不明である為地方財政対策について不安がある。

問 周防大島町過疎自立促進計画の策定については町民の意見をしっかり聞くことが大事。少なくとも旧4町1カ所づつ意見を聞く会をもつことが大事。

答（町長）町民の皆様の声を聞き計画に反映する事は当然のことである。色々な方法を考え対応してゆく。

その他 再編交付金に頼らない町づくりの必要性、企業局職員の待遇改善についての給与表のあり方と労働組合確立の問題、地元建設業者の育成とモラルの確立について質問をした。